

平成 28 年松本市議会第 2 回臨時会  
市長招集あいさつ

[28.10.31(月) PM1:00]

本日ここに、平成 28 年松本市議会第 2 回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申しあげます。

今臨時会は、去る 10 月 24 日、犬飼議長から、継続審査中の平成 27 年度松本市水道事業会計未処分利益剰余金の処分、及び平成 27 年度松本市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分、並びに平成 27 年度松本市歳入歳出決算の認定、及び平成 27 年度松本市公営企業会計決算の認定の議案 4 件を、付議事件として臨時会の招集請求がございましたので、招集したところでございます。

なお、議案以外に、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告 3 件を報告いたしております。

それでは冒頭、皆様既にご承知のとおり、去る 28 日、松本市の名誉市民であります草間彌生氏の、文化勲章の受章が政府から発表されました。

松本市出身の草間氏におかれましては、類まれなる前衛芸術家、世界のクサマとして活躍され、松本市美術館に多くの作品を寄贈いただくなど、松本市の芸術文化向上に多大なるご功績を挙げられており、心から文化勲章の受章をお喜び申しあげます。

現在、草間氏デザインにより、松本市美術館の正面入口の壁面が、水玉模様でラッピングされており、この受章を機に、更に、マツモトに対し、世界のあちこちから熱い視線が注がれることと思います。

この度の受章を松本市の誇りとして、市民の皆さん共々心からお祝い申しあげ、今後のご健勝とご活躍をご期待申しあげるところであります。

一方、先日の議員協議会の際にも申しあげましたが、去る20日、松本市の観光大使をお務めいただいております、世界的な登山家の田部井淳子氏がお亡くなりになりました。

ご逝去の報に接し、この場をお借りして、心からお悔やみ申しあげます。

田部井氏におかれましては、学生の頃より、アルプスの山々を目指し、幾度となく松本市を訪れ、この町をこよなく愛していただいていたご縁から、平成22年7月より、松本市の観光大使をお務めいただいております。

この間、松本市の知名度向上や観光客の誘致促進を図るため、観光政策の推進に広い視野を持ってご助言をいただいております。

また、平成23年12月には、松本駅お城口広場に設置された時計塔に、「ガク都・松本」を広くアピールするため、小澤征爾氏による音楽の「楽都」とともに、山岳の「岳都」を揮毫いただきました。

その際も、「松本市が大好きだ」とおっしゃっていただき、「岳都・松本」を高くご評価いただいたことが思い出されます。

また、田部井さんから「私は、全国各地に講演で出かける折、『松本市の観光大使の田部井です』と言って、進んで観光大使の名刺を配っています」というお話を伺い、大変有難く思っております。

世界に誇る輝かしい足跡に心から敬意を表し、市民とともに衷心からご冥福をお祈りいたします。

次に、来る11月10日、11日の両日に開催する、「第6回世界健康首都会議」について若干申しあげます。

今回の海外基調講演では、松本市と都市交流を行っているドイツ・フライブルク市から、前第一副市長のハンスヨルグ・ゼー氏をお招きし、フライブルク市の福祉と健康政策について講演いただくとともに、同じく都市交流を行っている台湾・高雄市からも高雄市政府社会局老人福利科長のヨウ・イクレイ氏、並びに老人研究発展中心長・教授代

表のチン・ケイビン氏のお二人をお招きし、高雄市の老人福利政策と未来への展望についてご講演いただくこととしており、松本市の今後の取組みの参考として参りたいと考えております。

また、今回の会議のサブタイトルに「予防カルチャー～暮らせば健康になるまち～」と題し、千葉大学医学部・予防医学センターの近藤克則教授を始め、数名のパネリストをお招きし、パネルディスカッションを開催いたします。

この度の会議は、健康づくりの更なる推進と、医療・健康分野の産業振興の両者を目的に、市民の皆様の参加しやすさに配慮しながら、学びの場の提供と国内外への発信を行って参ることとしており、昨年に引き続き、看護学生や工業高校の生徒など、若い世代の皆様にも参加いただくとともに、多くの企業による健康づくりに関わる多彩なブースを設けますので、議員の皆様におかれましても、是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、「山の日」を祝日として制定する機運をさらに盛り上げるため、平成23年の第1回において田部井淳子氏にもご講演いただくなどして開催して参りました、「岳都・松本『山岳フォーラム』」について申し上げます。

本年の「岳都・松本『山岳フォーラム2016』」は、ご案内の通り、去る8月に上高地において、第1回「山の日」記念全国大会が開催されましたことから、その経緯と実績を踏まえ、この記念大会の集約と、今後、更に継承していく取組みに焦点を当て、来月26日、27日に開催いたします。

本年は、「若い世代を始め、子どもたち、更にその次の世代に山と自然の魅力を発信し、その価値を共有」すること、また、「登山、ハイキング、自然散策などによる効果的な健康づくりを、『健康寿命延伸都市・松本』の取組みとして発

信」すること、更には、「山がもたらす無限の価値と恵みを、登山愛好家だけにとどまらず、広く多くの方々における理解の深まりを目指す」ことなどを目的として開催いたします。

具体的には、1日目のプログラムとして、「山に親しむ」をテーマに、次代を担う子どもたちと共に、「山の未来」を創造する第一歩となる機会を提供するため、安曇大野川中学校の生徒たちによるアルプホルン演奏や、親子で自然や生命の尊さを考えることのできるアニメ映画の上映、また、山と自然をモチーフにした人形劇等を開催いたします。

更に、2日目のプログラムでは、登山の魅力にスポットを当て、過酷な状況に挑戦する姿から生きる勇気などを学ぶ、「山に挑む」をテーマに、山岳関係者らが、山の課題等について意見を交わす「山の日座談会」、また、本年5月に、日

本人最年少でエベレストの登頂を達成した、南谷真鈴さんみなみや まりんによる講演会やトークショーなどを予定しております。

議員の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、臨時会の招集に当たりましてのごあいさつといたします。

( 以 上 )